

# 資 料

INFORMATION



ARV-501



ARV-511



ARV-521

廃番



ARV-531

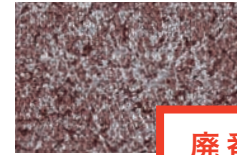
廃番



ARV-502

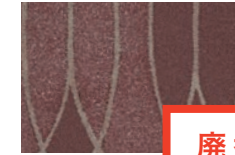


ARV-512



ARV-522

廃番



ARV-532

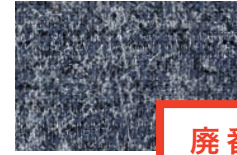
廃番



ARV-503

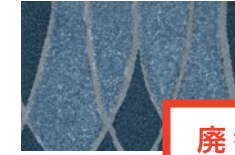


ARV-513



ARV-523

廃番



ARV-533

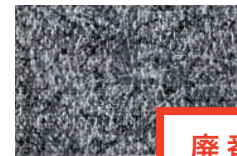
廃番



ARV-504

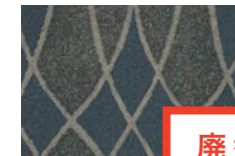


ARV-514



ARV-524

廃番



ARV-534

廃番



ARV-505



ARV-515



ARV-525

廃番



ARV-535

廃番



ARV-506



ARV-526

廃番



ARV-536

廃番

寒水石  
— パールシリーズ —

ガラスビーズ

抗菌防汚フィルム加工紙

塩ビプリント



ARV-541

廃番



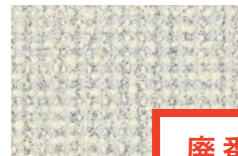
ARV-551



ARV-561



ARV-571



ARV-542

廃番



ARV-552



ARV-562



ARV-572



ARV-543

廃番



ARV-553



ARV-563



ARV-573



ARV-544

廃番



ARV-554



ARV-564

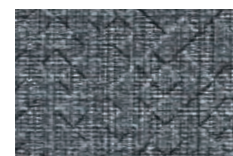


ARV-574

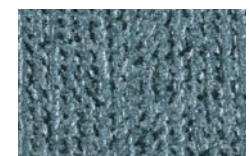


ARV-545

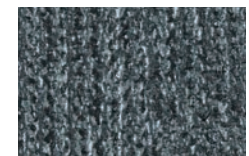
廃番



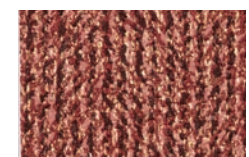
ARV-565



ARV-575



ARV-576



ARV-577

塩ビプリント  
—シルバーラメシリーズ—

塩ビエンボス

塩ビエンボス  
—パールシリーズ—

塩ビエンボス  
—パールシリーズ—

## — ホテル・店舗の新築・リフォームに —

アライバルは不燃認定品の壁紙です。法定不燃下地及び法定不燃石膏ボードと組み合わせることで「不燃」仕上げとなります。

※金属下地の場合は、INDEXをご覧ください。

当社壁紙を施工される場合には、以下の点にご注意ください。

## 壁紙施工上のご注意

### 1. 施工の前に

施工前に施工部位と製品の品番・ロット・数量を確認してください。  
同一面でジョイントする際は、色差を避ける為、同一ロット製品を糊付けした順に貼り合わせてください。

### 2. 副資材について

副資材(パテ・シーラー・施工糊等)は、必ず壁紙専用のものを使用し、用途・用法は各副資材メーカーの指示に従ってください。  
専用品以外のものを使用すると、目隙やフクレを発生させることがあります。

### 3. 下地処理について

不燃認定品の壁紙は、厚みが比較的薄い製品を含みます。  
施工後の不陸を防ぐ為、下地は平滑に仕上げてください。  
またネジ・クギ類は施工後の変色を避ける為、突起を完全に沈めてサビ止めをしてください。

下地にインクや墨等の記入がある場合や、窓枠などの塗料が付着しているときは、取り除いてから施工してください。

ペンキ、コンクリート、モルタル、ベニヤ・合板下地、金属下地等、アクやサビの発生しやすい下地は、それぞれ専用のシーラー、防錆剤で下地処理をしてください。  
シーラー処理は接着不良や壁紙の変色を防ぎます。

施工後に下地の色が透けて見えることを防ぐ為、パテは下地と同色のものを使用してください。

パテ、シーラーを施した場所は十分に乾燥してから施工を始めてください。  
未乾燥の状態での施工は壁紙の変色やカビの発生を招くことがあります。  
パテ部分にサンドペーパーをかけた後は、必ず布やスポンジ等で粉を拭き取ってください。  
粉が下地に残っていると、接着力が落ちる原因となります。

#### ▶リフォーム貼り替え時について

貼り替え時は、下地に壁紙の裏紙が残っている場合は完全にはがしてから施工してください。

### 4. 糊付けについて

施工糊は壁紙施工用でん粉系接着剤をご使用ください。建築基準法の規制対象外となる「F☆☆☆☆」表示のあるものを使用してください。  
本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。希釈タイプの施工糊は糊メーカーの指示に従ってください。  
塗布量は130～160g/m<sup>2</sup>を目安とし、均一に塗布してください。  
温度・湿度・壁紙の性質に合わせて塗布量を調整してください。塗布量や希釈率が不適切であった場合、アイハギや接着不良、目隙の原因となります。  
※光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。

#### ▶糊付け後の注意点

糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、重ね置きをしないでください。  
壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部を強く押さえないようにしてください。折りジワになることがあります。

#### ▶オープンタイムについて

オープンタイムは製品ごとに異なります。また季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。  
糊付け後は伸びが生じます。適切なオープンタイムを取って壁紙が柔らかくなってから施工してください。

#### 壁紙別オープンタイム(目安)

寒水石 5～15分	ARV-501～506	乾燥よけの為、糊付け後は養生ケース又は養生袋に入れてください。
ガラスビーズ 10～15分	ARV-511～515	乾燥・アイハギ防止の為、糊付け後は養生ケース又は養生袋に入れてください。
抗菌防汚フィルム加工紙 15～30分	ARV-521～526	—
塩ビプリント 10～15分	ARV-531～536 ARV-541～545	乾燥・アイハギ防止の為、糊付け後は養生ケース又は養生袋に入れてください。
塩ビエンボス 10～15分	ARV-551～554 ARV-561～565 ARV-571～577	—

## 壁紙施工上のご注意

### 5. 貼り付けについて

道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。重量がある壁紙は破れないように取り扱いに注意し、ゆっくり垂らして伸ばしてください。

貼り付け後、接着面に空気や余分な糊が残らないよう丁寧に密着させてください。撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。壁紙の凹凸がつぶれないように丁寧に収め、ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。ジョイント部分の押さえすぎによるテカリに注意してください。

### 6. 糊付着の注意点

壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。糊の付着を放置すると光沢が変わって見えたり、後日変色してくることがあります。表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。その際柔らかい布を使用し、強くこすらないでください。表面が傷付き、色や光沢が変わることがあります。施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。

#### ▶濃色壁紙の注意点

濃色壁紙に付いた糊や汚れを拭き取る際は丁寧に行ってください。壁紙の窪みなどに拭き残しがあると、しばらくして白く目立つことがあります。

### 7. ジョイントについて

壁紙は天地方向を合わせ、有効幅(製品表示幅)の端部同士でジョイントしてください。端部同士以外でジョイントすると、色差やツヤ差が生じることがありますのでご注意ください。石膏ボード下地で重ね切りを行う場合は、石膏ボードの原紙まで切り込まないようにしてください。目隙やボード割れの原因となります。下地を切らないように下敷きテープを入れてカットすることをおすすめします。(ネイビー13下敷きテープ(㈱ニットー製)など)ビニル壁紙は力を入れずにカットできますが、素材の硬い寒水石やビーズクロスは力が入りますので、重ね切りをする際は必ず下敷きテープを使用してください。

#### ▶カッターについて

カッターは薄刃のものをおすすめします。カッターの刃は寝かせて切るようにし、壁紙の切り口がささくれのないよう、小まめに刃先を替えてください。

### 8. 有効幅について

壁紙は有効幅でご使用ください。有効幅を超えた使用は、色違いの原因となります。ジョイント位置は端部同士で施工してください。両端部と中央部では色差が生じることがあります。また端部同士でも若干色差が生じる製品があります。(※ARV-531～536、ARV-541～545)

### 9. 柄合わせについて

柄合わせが必要な製品は、見本帳に「リピート」表記をしています。基本的にはジョイントマーク同士を合わせて施工してください。但し「リピート」表記があっても、無地貼り可能な製品には「無地貼り可」と表記しています。印刷面に関係なく、エンボス形状(壁紙の凹凸)によって、柄合わせの必要な製品は「エンボスリピート」と表記しています。

・プリント印刷で柄合わせが必要な製品  
ARV-531～536

・エンボスリピートの製品  
ARV-561～565  
(エンボスリピート品ですが、柄合わせをしないで貼っても目立ちにくい無地貼り可の製品です。)

※柄合わせが必要な製品は、要尺の計算にご注意ください。無地貼りの製品よりも数量が多くなります。

※リピート表記は糊付け前の壁紙に対するものです。壁紙は糊の水分を含んだり、引っ張るなど力を加えることで寸法変化が生じます。

### 10. 無地貼り可の製品について

下記は無地貼り可の製品です。

ARV-501～506  
ARV-541～545  
ARV-551～554  
ARV-561～565  
ARV-571～577

### 11. 両耳スリッター加工品(12m巻)

両耳スリッター加工品の当該製品は基本的に突き付け施工となります。ジョイント部分は目立つ場合があります。ジョイントマークがなく柄合わせができない為、ジョイント部分の柄は合致しません。ご了承ください。※ガラスビーズは硬く、重ね切りが難しい製品です。カッターの刃の角度によりジョイント部分にささくれが生じることがあります。

ARV-511～515

### 12. 施工後について

施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因となります。施工後の臭いが残った場合は、臭いを軽減する為に、十分に換気を行ってください。

### 13. 三巾程度の施工で状態確認

製品検査には十分注意していますが、三巾ほどを施工後、製品に色差・ツヤ差など問題のないことを確認した上で作業を進めてください。製品に欠陥が見られた場合は、施工を中断し、購入先までご連絡をお願いします。三巾以降の施工代等の賠償につきましては、原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。

## 維持管理上のご注意

---

### メンテナンス

#### 1. 入居後の換気

---

入居後、室内に施工時の臭いが残っている場合がありますので、一週間程度は換気を十分に行ってください。

#### 2. 直射日光、暖房器具からの保護

---

直射日光や熱風が長時間当たる場所では、変退色する恐れがあります。カーテンやブラインド等での日除けを心掛けてください。

またストーブ等の暖房器具の熱風が、直接壁紙に当たらないようにしてください。変形変色、目隙やはがれの原因になります。

#### 3. 粘着テープを貼らない

---

粘着テープ(セロハンテープ、ガムテープ、マスキングテープ等)を壁紙に付着させないでください。

テープの粘着剤が壁紙に移行し、変色や汚れの原因となります。また粘着テープをはがす時に壁紙を破損することがあります。

#### 4. 汚れが付着したら

---

飲料水や調味料等の水性汚れが付いたら、すぐに清水で絞った布で拭き取ってください。

取れにくい場合には中性洗剤を薄めた水で拭き取り、仕上げは乾布で拭き取ってください。

シンナーなどの溶剤は壁紙を傷めますので避けてください。

※壁紙の汚れには多種多様なものがあります。重要なことは汚染物質を付着させないことと、付着したら直ちに拭き取ることです。

#### 5. 湿気を避ける

---

カビ発生の原因となる結露の発生及び湿気を防ぐ為、室内の換気や湿度調整を心掛けてください。

#### 6. 壁紙がはがれてきたら

---

施工後、経時変化(結露や乾燥など)により、部分的にはがれが生じる場合があります。

早めに壁紙用接着剤(又は工作用のでん粉糊に木工用ボンド(1~2割)をまぜたもの)を壁紙裏面に塗り、圧着して補修してください。

#### 7. タバコの煙、厨房の油煙について

---

タバコの煙や厨房からの油煙は、壁紙を短期間で黄変させ頑固な汚れとなります。

強制換気を心掛けてください。

#### 8. 油性マーカーを付着させない

---

油性マーカー、クレヨン、ボールペンなどの汚れは落とすことができません。

#### 9. 薬品や化粧品類を付着させない

---

殺虫剤・塗料スプレー・化粧品等を壁紙に付着させないでください。

壁紙が変色することがあります。

#### 10. 家具と壁紙との空間を保つ

---

家具を壁紙に密着させると、家具の塗料に含まれる色素などにより、壁紙が変色することがあります。

#### 11. 傷を付けない

---

壁紙表面の破損は、補修が困難です。日常生活において、家具や硬くて鋭利なものを当てないよう注意してください。

## 取扱い上のご注意

### ■荷扱い・保管上のご注意

製品が届いたら  
製品受領時に欠損などの有無を確認してください。また、ご注文品と現物が一致していることを確認してください。  
万一欠損がある、またはご注文品と現物が異なっていた場合は、購入先にご連絡ください。

荷扱いについて  
ロール状に巻かれた壁紙は数量次第で重量物として取り扱う必要があります。  
身体に過度な負担をかけるような無理な運搬はしないでください。  
また、危険ですので製品をトラックの荷台などの高所から落下させないでください。ケガや製品の破損を引き起こします。

保管について  
製品はヨコ積み・井桁積みをせず、タテ置きにして圧迫などの強い負荷をかけないでください。  
濡れや置き跡などが残る場合があります。  
両耳スリッター加工品は端部の破損を防ぐ為、保管はヨコ置きが基本です。  
製品は火気・高温・水・湿気・直射日光などを避けて保管してください。

### ■選択上のご注意

防火性能と施工について  
建築基準法には防火上の内装制限に関する規定があり、対象建築物について内装材料に要求される防火性能の基準が定められています。  
壁紙の防火性能は、壁紙・下地基材・施工方法の組み合わせによって認定されたものです。  
防火性能が必要な場合は、使用する壁紙の防火性能(認定番号)と条件、施工部位における下地基材や施工方法を事前に確認してください。  
また防火仕上げとする場合、下地へのシーラー処理が標準施工となりますのでご注意ください。

使用環境について  
壁紙の施工部位における環境条件などを予めご確認ください。  
高温・多湿・寒冷な環境下などでの使用は避けてください。

施工費について  
施工難易度の高い製品については、施工費が割高になる場合があります。  
ご留意の上で製品を選択してください。

見本帳と現物の色差について  
ロット違いにより、見本帳の製品サンプルと実際の製品の色・柄・風合いなどが異なって見える場合があります。予めご了承ください。

製品の改良・価格について  
製品の品質改良その他経済事情の変動などにより、予告なく仕様や価格を変更する場合があります。予めご了承ください。

見本帳の写真について  
印刷の都合上、見本帳掲載のイメージ写真と実際の製品が異なって見える場合があります。予めご了承ください。

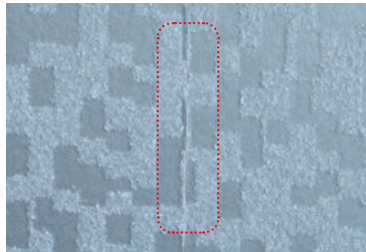
### ■壁紙廃棄上のご注意

残材を焼却しない  
壁紙の残材や見本帳を燃やすと、刺激性のガスなどが発生する場合がありますので、焼却しないでください。

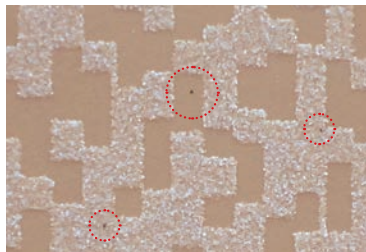
産業廃棄物として処理する場合  
壁紙の残材や不要になった見本帳の処分については、自治体の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。

一般廃棄物として処理する場合  
少量の残材を一般廃棄物として処分する場合は、市町村条例に従ってください。なお、業者の方が工事に伴って排出したものは、産業廃棄物として処理する必要があります。

■規格：有効幅93cm×50m乱 ■リピート：タテ40cm ヨコ46.5cm 無地貼り可 ■材料区分：無機質系壁紙



ジョイント写真 ARV-502(青)



寒水石の黒い部分 ARV-505(ベージュ)



ベース部分 ARV-505(ベージュ)

[ 製品についての特記事項 ]

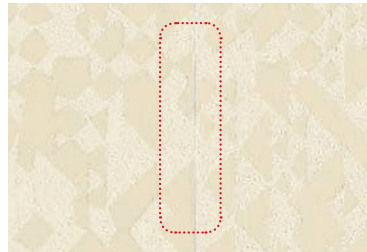
- ・天地マークは表面と裏面に入っています。ジョイントマークは表面に入っています。
- ・無地貼り可の製品です。
- ・ジョイント部分はカットにより、寒水石の柄部分が白くなり、目立つ場合があります。  
(※ARV-501～505)
- ・骨材が硬い為、試し切りをおすすめします。
- ・骨材の製法上、寒水石の黒い部分が混じる場合があります。予めご了承ください。

[ 施工のポイント ]

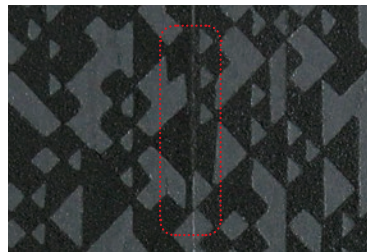
1. 下地処理
  - ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
  - ・バテは下地材と同色のものを使用してください。
2. 糊付け
  - ・施工糊は多めに塗布してください。付けだめはしないでください。
  - ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。
  - ・糊の付着に注意してください。製品の形状上、付いたら拭き取りにくいです。
  - ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で軽く叩くように乾拭きを行ってください。
  - ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
  - ・オープンタイムは季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。
  - ・オープンタイム 5～15分 (付けだめ禁止) 乾燥・アイハギ防止の為、養生ケース又は養生袋に入れてください。
  - ・糊付け後は折りジワが付かないように大きikutたみ、重ね置きをしないでください。
  - ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。
3. 貼り付け
  - ・重量がある寒水石壁紙は破れないように取り扱いに注意し、ゆっくり垂らして伸ばしてください。
  - ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
  - ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
  - ・エア抜き作業時は骨材の剥落を防ぐ為に丁寧にしてください。
  - ・カッターナイフの刃が傷みやすいので、こまめに刃先を替えてください。  
目安：30cmごとに刃を折り、新しい刃でカットしてください。また下敷きテープは必ず使用してください。
  - ・ジョイント部分はカットにより寒水石の柄部分が白くなり、目立つ場合があります。
  - ※気になる場合の補修方法として、施工後に清水を絞った布でジョイント部分を軽くおさえると、寒水石の粉が取れて緩和されます。
  - ・ジョイント部分のローラーが当てられないベース部分は、ブラシ等で丁寧に撫で付けしてください。
  - ・ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。
4. 施工後
  - ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。



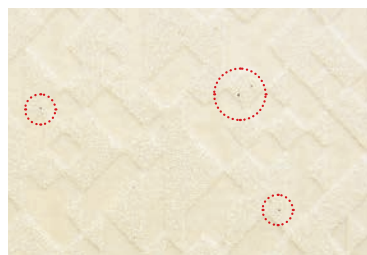
■規格：有効幅91.8cm×12m巻 ■リピート：ー ■材料区分：無機質系壁紙



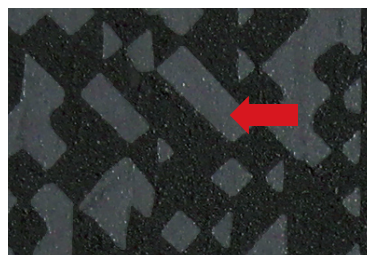
ジョイント写真(突き付け) ARV-511(白)



ジョイント写真(突き付け) ARV-515(黒)



不純物写真 ARV-511(白)



ベース部分 ARV-515(黒)

#### [ 製品についての特記事項 ]

- ・両耳スリッター加工品(12m巻)の製品です。保管は端部の破損を防ぐ為、ヨコ置きが基本です。開封後は端部の汚れに注意してください。
- ・天地マーク及びジョイントマークは入っておりません。柄の上下は巻出し口を天方向として、糊を付けた順番に施工してください。
- ・この製品は基本的に突き付け施工となります。ジョイント部分は目立つ場合があります。ジョイントマークがなく柄合わせができない為、ジョイント部分の柄は合致しません。ご了承ください。
- ※ガラスビーズは硬く、重ね切りが難しい製品です。カッターの刃の角度によりジョイント部分にさざくれが生じることがあります。
- ・特に濃色壁紙(※ARV-513(緑)・ARV-514(茶)・ARV-515(黒))はジョイント部分で壁紙の小口(断面)が目立つ場合があります。補修方法として毛筆ペン(淡い灰色)で白く目立つ部分を補修すると緩和されます。
- ・骨材が硬い為、試し切りをおすすめします。以下の3色、カット部分はガラスビーズの柄部分が白くなります。(※ARV-513(緑)・ARV-514(茶)・ARV-515(黒))
- ・骨材の製法上、ガラスビーズ以外の不純物が混じる場合があります。予めご了承ください。(※ARV-511(白))

#### [ 施工のポイント ]

1. 下地処理
  - ・壁紙の厚みが薄いため、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
  - ・パテは下地材と同色のものを使用してください。
2. 糊付け
  - ・施工糊は多めに塗布してください。付けだめはしないでください。
  - ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。
  - ・糊の付着に注意してください。製品の形状上、付いたら拭き取りにくいです。
  - ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で軽く叩くように乾拭きを行ってください。
  - ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
  - ・オープンタイムは季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。
  - ・オープンタイム 10～15分 (付けだめ禁止)
  - ・通気性があり、糊付け後は乾燥の速い製品です。
  - ・乾燥・アイハギ防止の為、養生ケース又は養生袋に入れてください。
  - ・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、重ね置きをしないでください。
  - ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。
3. 貼り付け
  - ・重量があるガラスビーズ壁紙は破れないように取り扱いに注意し、ゆっくり垂らして伸ばしてください。
  - ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。
  - ・硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
  - ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。
  - ・ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
  - ・エア抜き作業時は骨材の剥落を防ぐ為に丁寧にしてください。
  - ・カッターナイフの刃が傷みやすいので、カットの際はこまめに刃先を替えてください。
  - ・目安:30cmごとに刃を折り、新しい刃でカットしてください。重ね切りをする場合は、下敷きテープを使用してください。
  - ・ジョイント部分のローラーが当てられないベース部分は、ブラシ等で丁寧に撫で付けてください。
  - ・ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。
4. 施工後
  - ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。
  - ・冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。

■規格：有効幅92cm×50m乱 ■リピート：ー ■材料区分：その他壁紙

抗菌防汚フィルム(エパール®フィルム)を表面にラミネートしてあり、付着した汚れが拭き取りやすくメンテナンス性に優れた壁紙です。

一般のビニル壁紙では落ちにくい汚れに対しても水拭きや中性洗剤を使って落とすことができます。

抗菌性を備えており、壁紙の表面に付着した細菌の抑制に効果があります。

**[ 製品についての特記事項 ]**

- ・天地マークは表面に入っています。
- ・表面のフィルムが破損すると、その部分は抗菌・防汚の機能が失われます。傷が付かないようにご注意ください。
- ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。糊の付着を放置すると光沢が変わって見えたり、後日変色してくることがあります。

**[ 施工のポイント ]**

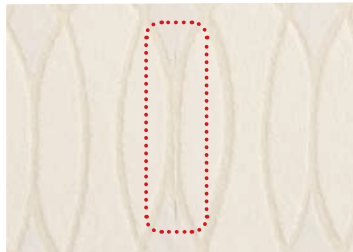
1. 下地処理
  - ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
  - ・パテは下地材と同色のものを使用してください。
2. 糊付け
  - ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。
  - ・糊の付着に注意してください。表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。
  - ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
  - ・オープンタイムは季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。
  - ・オープンタイム 15～30分
  - ・糊付け後は折りジワが付かないように大きくたたみ、重ね置きをしないでください。
  - ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。
3. 貼り付け
  - ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
  - ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
  - ・カット断面が目立たないように、ジョイントの納め方は、一度開いて小口(断面)を合わせてローラー掛けを行ってください。
  - ・ローラー掛けはしっかりと丁寧に行ってください。
4. 施工後
  - ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。
  - ・冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。

## 壁紙施工要領 塩ビプリント

廃番

ARV-531～536

■規格：有効幅92.4cm×50m乱 ■リピート：タテ10.7cm ヨコ8.4cm ■材料区分：塩化ビニル系樹脂壁紙



ジョイント写真 ARV-531(白)

### [ 製品についての特記事項 ]

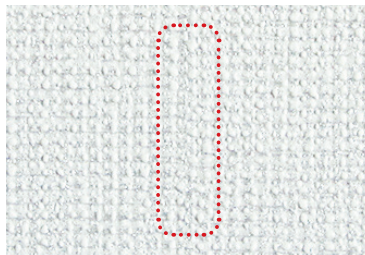
- ・柄合わせが必要な製品です。
- ・天地マーク及びジョイントマークは表面に入っています。
- ・壁紙の製法上、ジョイント部分では柄ズレが生じる場合があります。

## 壁紙施工要領 塩ビプリント — シルバーラメシリーズ —

廃番

ARV-541～545

■規格：有効幅92.4cm×50m乱 ■リピート：タテ64.1cm ヨコ92.4cm 無地貼り可 ■材料区分：塩化ビニル系樹脂壁紙



ジョイント写真 ARV-541(白)

### [ 製品についての特記事項 ]

- ・天地マーク及びジョイントマークは表面に入っています。
- ・壁紙の製法上、左右両端と中央の厚みが均一ではない場合があります。出来るだけ端部でのジョイントをおすすめします。但し端部でも若干の色差が生じる場合があります。

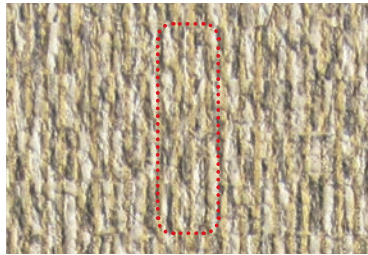
### [ 施工のポイント ]

1. 下地処理
  - ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
  - ・パテは下地材と同色のものを使用してください。
2. 糊付け
  - ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。
  - ・糊の拭き残しが目立ちやすい壁紙です。濃い壁紙に拭き残しがあると、しばらくして白く目立つことがあります。表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。
  - ・糊の付着を放置すると光沢が変わって見えたり、後日変色してくることがあります。
  - ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
  - ・オープンタイムは季節や室内環境により目安時間が変わりますのでご注意ください。
  - ・オープンタイム 10～15分
  - ・通気性があり、糊付け後は乾燥の速い製品です。
  - ・乾燥・アイハギ防止の為、養生ケース又は養生袋に入れてください。
  - ・糊付け後は折りジワが付かないように大きikutatami、重ね置きをしないでください。
  - ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。
3. 貼り付け
  - ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。
  - ・硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
  - ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。
  - ・ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
  - ・ローラー掛けはしっかりと丁寧に行い、ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。
  - ・ジョイント部分の押さえすぎによるテカリに注意してください。強く押さえるとツヤ差(光沢ムラ)が出て色が変わって見えることがあります。
4. 施工後
  - ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。
  - ・冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。

## 壁紙施工要領 塩ビエンボス

ARV-551～554

■規格：有効幅92.8cm×50m乱 ■リピート：タテ25cm ヨコ23.2cm 無地貼り可 ■材料区分：塩化ビニル系樹脂壁紙



ジョイント写真 ARV-552(茶)

### [ 製品についての特記事項 ]

- ・天地マーク及びジョイントマークは表面に入っています。
- ・無地貼り可の製品です。柄合わせをしないで貼っても、デザイン上ジョイント部分は目立ちにくい製品です。
- ・ビニルの発泡加工品です。壁紙表面の破損を防ぐ為、硬くて鋭利なものを当てないように、施工時にご注意ください。

## 壁紙施工要領 塩ビエンボス パールシリーズ

ARV-561～565

■規格：有効幅93cm×50m乱 ■リピート：タテ20.9cm ヨコ31cm (エンボスリピート) 無地貼り可 ■材料区分：塩化ビニル系樹脂壁紙



ジョイント写真 ARV-561(白)

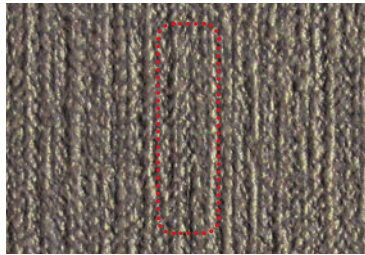
### [ 製品についての特記事項 ]

- ・天地マーク及びジョイントマークは表面に入っています。
- ・無地貼り可の製品です。柄合わせをしないで貼っても、デザイン上ジョイント部分は目立ちにくい製品です。
- ・ビニルの発泡加工品です。壁紙表面の破損を防ぐ為、硬くて鋭利なものを当てないように、施工時にご注意ください。

### [ 施工のポイント ]

1. 下地処理
  - ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
  - ・パテは下地材と同色のものを使用してください。
2. 糊付け
  - ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。
  - ・光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。
  - ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。
  - ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
  - ・オープンタイム 10～15分
  - ・糊付け後は折りジワが付かないように大きなたみ、重ね置きをしないでください。
  - ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。
3. 貼り付け
  - ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
  - ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
  - ・ローラー掛けはしっかりと丁寧に行い、ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。
  - ・ジョイント部分の押さえすぎによるテカリに注意してください。強く押さえるとツヤ差(光沢ムラ)が出て色が変わって見えることがあります。
4. 施工後
  - ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。
  - ・冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。
  - ・粘着テープを壁紙に付着させないでください。テープをはがす時に壁紙を破損することがあります。

■規格：有効幅92.8cm×50m乱 ■リピート：タテ16.6cm ヨコ23.2cm 無地貼り可 ■材料区分：塩化ビニル系樹脂壁紙



ジョイント写真 ARV-573(茶)

[ 製品についての特記事項 ]

- ・天地マーク及びジョイントマークは表面に入っています。
- ・無地貼り可の製品です。デザイン上、ジョイント部分はタテ筋が目立つ場合があります。
- ・ビニルの発泡加工品です。壁紙表面の破損を防ぐ為、硬くて鋭利なものを当てないように、施工時にご注意ください。

[ 施工のポイント ]

1. 下地処理
  - ・壁紙の厚みが薄い為、下地はできるだけ平滑に仕上げ、変色を避ける為、シーラー処理を行ってください。
  - ・パテは下地材と同色のものを使用してください。
2. 糊付け
  - ・本製品の施工には、「ウォールボンド100(原液タイプ)」をおすすめします。
  - ・光沢差や変色の可能性がある為、壁紙の表面に糊が付かないように注意してください。
  - ・表面に付着した糊は、清水で絞った布ですぐに拭き取り、最後にきれいな布で乾拭きを行ってください。
  - ・施工中はジョイント部分からの糊のはみ出しに十分ご注意ください。
  - ・オープンタイム 10～15分
  - ・糊付け後は折りジワが付かないように大きいたたみ、重ね置きをしないでください。
  - ・壁紙が柔らかくなってから施工してください。
3. 貼り付け
  - ・道具は柔らかい刷毛やウレタン製のソフトローラーなどを使用してください。硬い刷毛は表面を傷付けるおそれがあります。
  - ・撫で付け・エア抜きはタテ方向を基本に行ってください。ヨコ方向の撫で付けは目隙の原因になりやすい為、控えてください。
  - ・ローラー掛けはしっかりと丁寧に行い、ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないでください。
  - ・ジョイント部分の押さえすぎによるテカリに注意してください。強く押さえるとツヤ差(光沢ムラ)が出て色が変わって見えることがあります。
4. 施工後
  - ・施工後、一週間程度は急激な空調の使用は避け、できるだけ窓を閉めて、自然乾燥を行ってください。
  - ・冷暖房などによる急激な乾燥は、目隙やはがれの原因になります。
  - ・粘着テープを壁紙に付着させないでください。テープをはがす時に壁紙を破損することがあります。

A R R I V A L INDEX

全点シックハウス対策品 F☆☆☆☆

品番	製品仕様	規格 有効幅×巻m数	リピート (cm)			機能性	SV	防火性能 (直張り)					防火種別	材料区分	
			タテ	ヨコ					不燃下地	不燃石膏ボード	準不燃下地	金属下地			
												不燃			準不燃
ARV-501～506	寒水石	93cm×50m乱	40	46.5		無地貼り可	-	○	NM-1668	NM-1668	-	-	-	6-1	無機質系壁紙
ARV-511～515	ガラスビーズ	91.8cm×12m巻	-	-			-	-	NM-9953	NM-9953	QM-9566	-	QM-9566	1-1	無機質系壁紙
ARV-521～526	抗菌防汚 フィルム加工紙	92cm×50m乱	-	-			抗菌・防汚	○	NM-1852	NM-1852	QM-0518	-	-	1-6	その他壁紙
ARV-531～536	ビニル	92.4cm×50m乱	10.7	8.4			防カビ	○	NM-3984	NM-3984	QM-0819	NM-4110	-	1-4	塩化ビニル系樹脂壁紙
ARV-541～545	ビニル	92.4cm×50m乱	64.1	92.4		無地貼り可	防カビ	○	NM-3984	NM-3984	QM-0819	NM-4110	-	1-4	塩化ビニル系樹脂壁紙
ARV-551～554	ビニル	92.8cm×50m乱	25	23.2		無地貼り可	防カビ	○	NM-3991	NM-3991	QM-0822	NM-4082	-	1-4	塩化ビニル系樹脂壁紙
ARV-561～565	ビニル	93cm×50m乱	20.9	31	エンボス リピート	無地貼り可	防カビ	○	NM-3991	NM-3991	QM-0822	NM-4082	-	1-4	塩化ビニル系樹脂壁紙
ARV-571～577	ビニル	92.8cm×50m乱	16.6	23.2		無地貼り可	防カビ	○	NM-3991	NM-3991	QM-0822	NM-4082	-	1-4	塩化ビニル系樹脂壁紙

撮影協力 重要文化財 ヨドコウ迎賓館(旧山邑家住宅) 重要文化財 自由学園明日館

製造元

**旭興株式会社**  
KYOKKO

大阪本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビルタワーウエスト16階  
TEL.06-6453-5705 / FAX.06-6453-5945

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-5 ヒューリック東日本橋ビル8階  
TEL.03-5822-5191 / FAX.03-5822-5197  
営業所 / 札幌・北関東・横浜

販売元

**西武株式会社**  
NISHIBU

大阪本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-30 梅田スカイビルタワーウエスト16階  
TEL.06-6453-5725 / FAX.06-6453-5740

東京営業所 〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-5 ヒューリック東日本橋ビル8階  
TEL.03-5822-5195 / FAX.03-5822-5197  
営業所 / 仙台・北関東・静岡・名古屋・岡山・広島・高松・松山・福岡・北九州・大分・鹿児島

2016.4